

学校生活の状況について

標記の件について、下記のとおり報告します。

- |   |                           |       |
|---|---------------------------|-------|
| 1 | 令和4年度「いじめ調査」(2回目)の結果について  | P 2～3 |
| 2 | 姉妹都市バンクーバー市との国際交流事業について   | P 4   |
| 3 | 学校と企業が連携した課題解決型学習について     | P 5～6 |
|   | 〈参考資料〉11月～1月の生徒指導上の事象について | P 7～9 |

# 1 令和4年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

〈令和4年度2学期末(11月~12月)実施〉

## 1 いじめ調査(2回目)の調査結果

**【認知】** 他の児童生徒からの言動等により、心身の苦痛を感じたもの(いやな思いをしたもの)

学年 (調査数)	小1年 562人	小2年 552人	小3年 561人	小4年 582人	小5年 590人	小6年 640人	小合計 3,487人	中1年 582人	中2年 597人	中3年 552人	中合計 1,731人
認知件数 (発生率)	111 19.8%	138 25.0%	113 20.1%	96 16.5%	48 8.1%	59 9.2%	565 16.2%	32 5.5%	16 2.7%	6 1.1%	54 3.1%

令和4年度  
(1回目)

631  
18.1%

71  
4.1%

いじめの 態 様			小学生	中学生
	① 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	380(361)	46(31)	
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	100(108)	6(5)	
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	161(200)	9(11)	
	④ ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする	105(98)	3(3)	
	⑤ 金品をたかられる	4(15)	1(0)	
	⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	16(27)	1(0)	
	⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたり、されたりする	50(62)	9(3)	
	⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる	7(19)	1(4)	
	⑨ その他	0(0)	0(0)	

( )の数字は昨年度

### 【未解消】

- A(要指導) いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
- B(要支援) いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
- C(見守り) いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)。

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
A 要指導	12	20	11	15	18	6	82	5	4	0	9
B 要支援	11	11	29	16	5	8	80	5	1	1	7
C 見守り	77	94	62	64	23	44	364	22	11	5	38

**【解消】** いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
解消件数	11	13	11	1	2	1	39	0	0	0	0

**【重大事態】** いじめにより、児童生徒の生命、心身・財産に重大な被害が生じたもの又は児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされているもの

該当件数なし

## 2 いじめ調査(1回目)の追跡結果(アンケート実施 R4.7 追跡調査・聞き取り R4.12)

学年 (調査数)	小1年 562人	小2年 552人	小3年 561人	小4年 582人	小5年 590人	小6年 640人	小合計 3,487人	中1年 582人	中2年 597人	中3年 552人	中合計 1,731人
認知件数 (発生率)	113 20.1%	121 22.0%	121 21.6%	108 18.6%	85 14.4%	83 13.0%	631 18.1%	40 6.9%	24 4.0%	7 1.3%	71 4.1%
A 要指導	0	1	10	1	3	2	17	0	1	0	1
B 要支援	0	3	3	4	2	1	13	2	1	1	4
C 見守り	2	1	6	7	2	1	19	2	0	1	3
解消件数 (解消率)	111 98.2%	116 95.9%	102 84.3%	96 88.9%	78 91.8%	79 95.2%	582 92.2%	36 90.0%	22 91.7%	5 71.4%	63 88.7%

# 令和4年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

## 1 アンケート調査の状況 (単位:校)

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	10	0	5	0
無記名式	0	0	0	0

## 2 認知・未解消・解消件数 (単位:件)

	調査数	今回の調査					第1回目の追跡調査				
		認知件数	未解消			解消	認知件数	未解消			解消
			A 要指導	B 要支援	C 見守り			A 要指導	B 要支援	C 見守り	
A		60	26	11	12	11	60	0	0	0	60
B		30	0	16	13	1	35	0	0	0	35
C		90	8	18	64	0	88	0	0	0	88
D		19	0	1	18	0	27	0	0	0	27
E		74	0	0	74	0	134	0	0	0	134
F		72	11	3	50	8	69	6	0	9	54
G		30	0	0	30	0	25	0	0	0	25
H		49	5	1	38	5	59	1	0	0	58
I		104	22	22	47	13	96	10	13	10	63
J		37	10	8	18	1	38	0	0	0	38
<b>小学合計</b>	<b>3,487</b>	<b>565</b>	<b>82</b>	<b>80</b>	<b>364</b>	<b>39</b>	<b>631</b>	<b>17</b>	<b>13</b>	<b>19</b>	<b>582</b>
K		4	0	0	4	0	11	1	0	0	10
L		10	0	1	9	0	10	0	1	2	7
M		20	3	4	13	0	23	0	3	1	19
N		11	0	0	11	0	17	0	0	0	17
O		9	6	2	1	0	10	0	0	0	10
<b>中学合計</b>	<b>1,731</b>	<b>54</b>	<b>9</b>	<b>7</b>	<b>38</b>	<b>0</b>	<b>71</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>63</b>

## 3 いじめの態様 (単位:件)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
小学校	380	101	161	105	4	16	50	7	0	824
中学校	46	6	9	3	1	1	9	1	0	76

- ① 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

## 2 姉妹都市バンクーバー市との国際交流事業について

### 1 趣旨

本市の小学生と姉妹都市であるバンクーバー市(米国)の小学生が国際交流し、互いに異文化を学び、語学学習への意欲を高める機会とする。

### 2 取組内容

寺田南小学校6年生とエメラルド小学校4年生が、それぞれの学校生活を紹介する動画を作成し、質問を付けて送付する。両小学校児童は、互いに動画を交換する形で交流を深めていく。

### 3 経緯と取組状況

- (1) 令和4年9月下旬、本市秘書広報課を通じ、姉妹都市であるバンクーバー市(米国)の担当者とオンライン会議を行い、本事業の趣旨及び内容等について、複数回にわたり、協議を行った。
- (2) 令和4年10月中旬、本市は寺田南小学校、バンクーバー市はエメラルド小学校を選定し、交換動画の作成に取りかかった。
- (3) 令和5年1月24日、エメラルド小学校から届いた動画を寺田南小学校児童が視聴しました。動画の内容は、授業や昼食などの様子であり、日本の学校の1日のスケジュールや給食の配膳方法といった質問もあった。  
寺田南小学校児童は、日本との違いを学んだ。
- (4) 令和5年2月7日、寺田南小学校児童は、紹介動画とエメラルド小学校からの質問の回答を作成・編集し、送付した。
- (5) 令和5年2月下旬、エメラルド小学校から届いた交換動画を視聴。3月上旬、エメラルド小学校から届いた交換動画に対する回答動画を送付する予定。

### 3 学校と企業が連携した課題解決型学習について

#### 1 実施校

城陽市立寺田南小学校 第6学年

#### 2 教科

総合的な学習の時間 (キャリア教育)

テーマ : 10年後、私はこう生きる

#### 3 目的

テーマに迫るプレゼンテーションの作成を通して、課題発見能力や課題解決能力を育成する。また、児童が社会に出る10年後を見据え、新たな価値を創造する力など、未来に求められる資質・能力を培う。

#### 4 内容

##### (1) 導入 (令和4年11月24日(木))

地域から5社の企業の方を招き、児童は興味のある3つの企業を選択し、ワークショップ型の学習を交代制で行った。

それぞれのブースでは、仕事内容や会社がうまく機能するための工夫や苦勞及び、これからの時代に必要な人材などについて、詳しく教えていただいた。

さらに、学んだことや感想等を付箋に書き出し共有した。

- <連携企業> ・株式会社 ナプラス ・ ・ ・ ・ ・ 廃棄物処理・リサイクル  
・株式会社 宮谷自動車工業 ・ ・ ・ 車販売・整備・保険  
・株式会社 庭彩 宮の ・ ・ ・ ・ ・ 造園業  
・有限会社 鹿間工業 ・ ・ ・ ・ ・ 鉄骨加工  
・てくのハウスMAKINO ・ ・ ・ 電気製品販売・施工等

どの企業の方も、児童へ「仕事は笑顔で楽しくできるものを選ぶこと」「失敗しても前向きに頑張ること」「普段から明るく振る舞える人には、人が集まってくるので、そんな人へ成長してほしい」というメッセージを伝えていただいた。

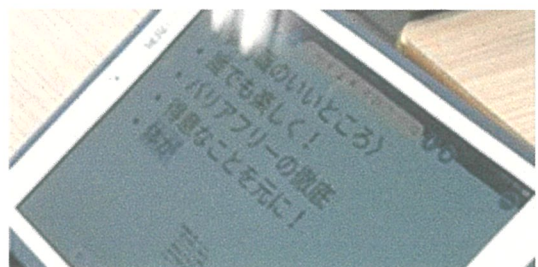
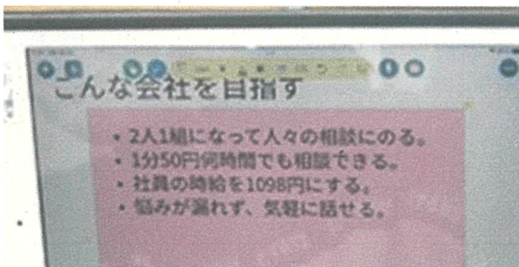




(2) プレゼンテーションの作成 (令和4年12月～令和5年1月)

10年後の社会や職業をイメージし、「あったらいいと考える会社」について、タブレットを活用して調べ学習を行った。

また、グループごとに、企業の方に提案するプレゼンテーションの作成を行った。



(3) 10年プロジェクト発表会 (令和5年2月～3月予定)

企業の方を招き、「10年後に自分たちが働きたい会社」「つくりたい会社」についてプレゼンテーションを行い、企業の方からアドバイスと評価をいただく。その後、学んだことを振り返り、まとめ学習を行う。

5 これまでの学習を通しての学び

相手にわかりやすく伝わるよう様々な情報を整理するなど、現状を分析し、目的や課題を明らかにする力と、提案する表現力の育成につながった。

児童は、これまで知らなかった身近にある仕事について知ることができ、また、どんな仕事であっても、前向きで明るい人間性が必要であることを学ぶことができ、キャリア教育として、とてもよい学習となった。

参考資料

1 1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和4年11月1日～11月30日）

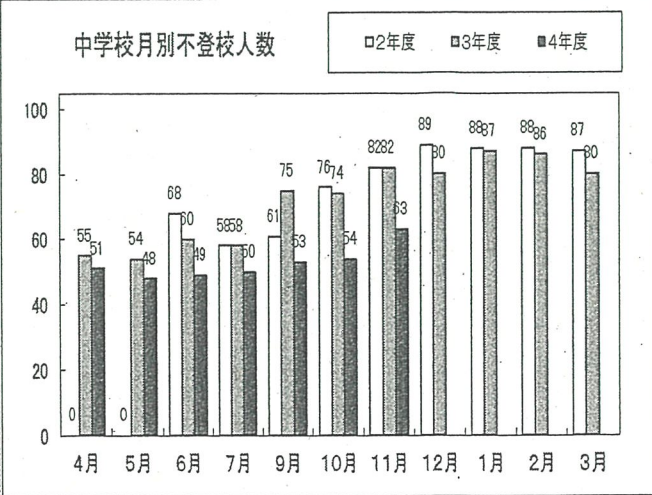
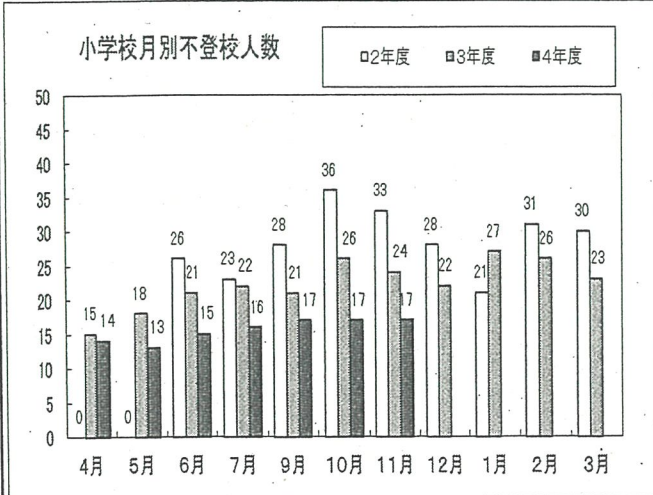
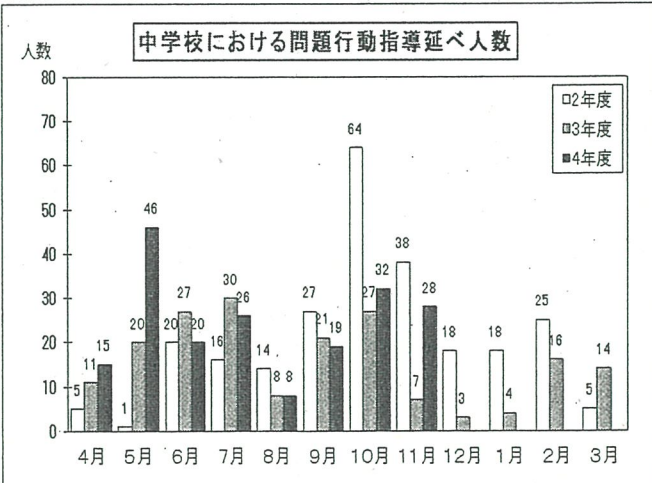
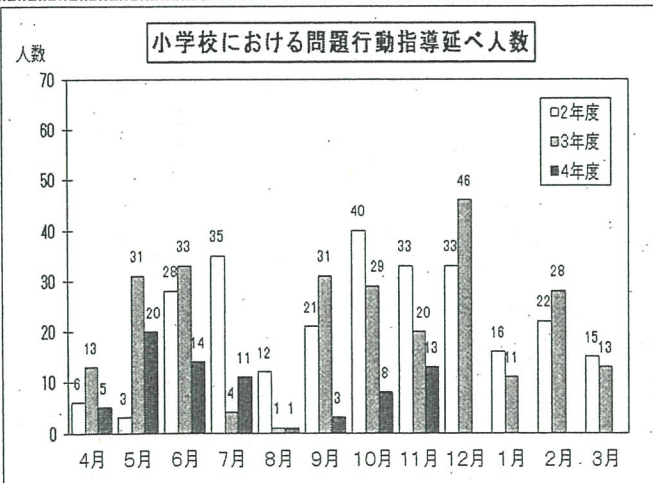
問題行動	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18																		19	20										
	暴力		器物損壊		器物損壊		窃盗		盗		金銭の持ち出し		火		喫煙		飲酒				薬物乱用		悪質行為・不健全		無断外泊・家出		わいせつな行為		不純異性交遊	
件数	生徒	対教師	対対人	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物	対物
小学校																			17											
学																			10											
校																			7											
中学校																			63											
学																			29											
校																			34											

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		2	1	3	1		7	5	9	5	19
女				5	1		6	5	2	2	9
計		2	1	8	2		13	10	11	7	28

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1		3	3	3	10	8	10	11	29
女			3	2	2		7	7	14	13	34
計		1	3	5	5	3	17	15	24	24	63



※はぐくみ第438号より抜粋





参考資料

1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和5年1月1日～1月31日）

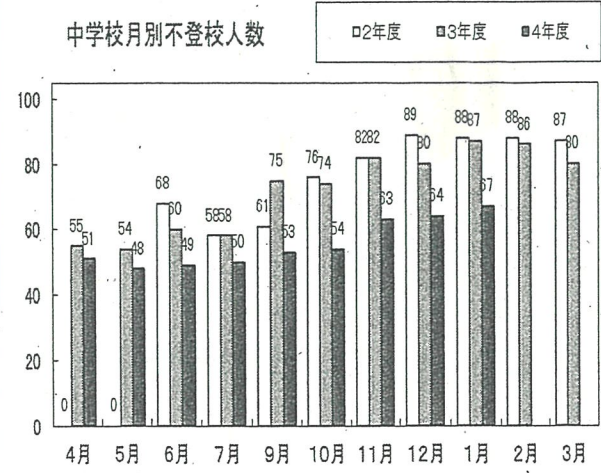
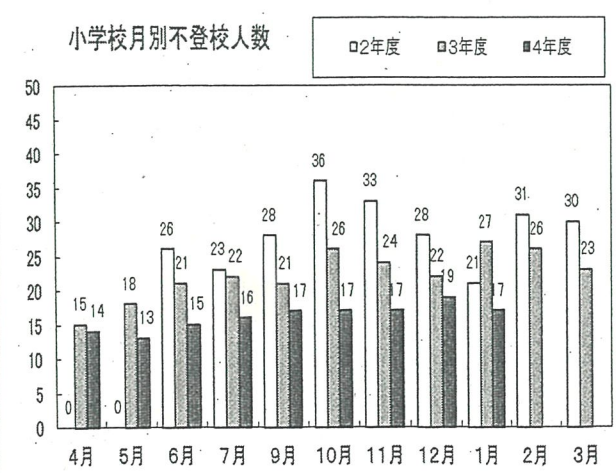
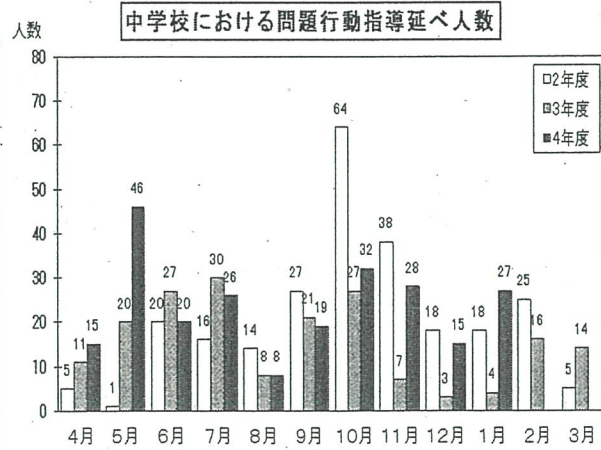
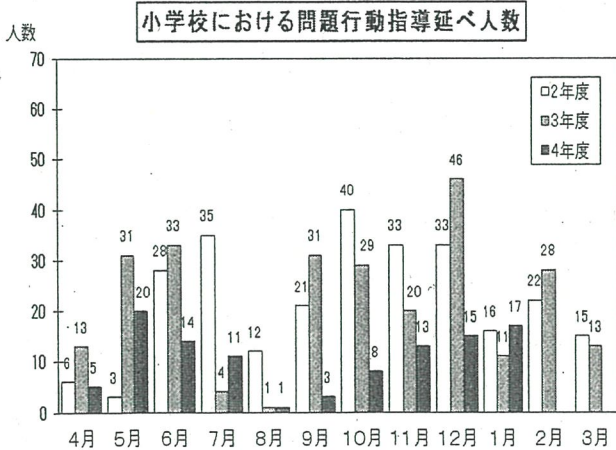
問題行動 件数 校種	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18																		19 不登校	20 その他被害等											
	暴力 生徒対教師間		器物損壊		恐ろしい 万引き		窃盗 金銭・物品		盗 バイク自転車		金銭の持ち出し		火 遊び		喫煙		飲酒				薬物乱用		悪質行為・不健全		無断外泊・家出		わいせつな行為		不純異性交遊		その他
小学校	1				1																							10	12	17	
男	1																											14	15	10	
女						2																					2	7			
中学校	1	1																									10	12	67		
男	1																									25	26	29			
女		1																								1	38				

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	1	1	1	5	6	15	17	9		26
女			2				2	1			1
計	1	1	3	1	5	6	17	17	10		27

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1		4	3	2	10	8	10	11	29
女			3	2	2		7	7	16	15	38
計		1	3	6	5	2	17	15	26	26	67



※はぐくみ第440号より抜粋